

議案第 2 号

岩手県人事委員会が保有する歴史公文書の保存、利用、廃棄等に関する規則の制定について

令和 4 年 9 月 22 日提出 岩手県人事委員会 委員長 渡辺 正和

第 1 制定の趣旨

公文書の管理に関する条例（令和 4 年岩手県条例第 20 号）第 30 条第 1 項の規定により「人事委員会における歴史公文書の保存、利用、廃棄等」について必要な事項を定めるもの。

第 2 規則案の内容

- （1） 趣旨について定めること。（第 1 条関係）
- （2） 歴史公文書の保存、利用、廃棄等に関する原則について定めること。
（第 2 条関係）
- （3） 目録の作成及び公表について定めること。（第 3 条関係）
- （4） 電磁的記録の利用の方法について定めること。（第 4 条関係）
- （5） 費用負担の額について定めること。（第 5 条関係）

第 3 施行期日（附則関係）

令和 4 年 10 月 1 日から施行すること。

岩手県人事委員会が保有する歴史公文書の保存、利用、廃棄等に関する規則をここに公布する。

令和4年 月 日

岩手県人事委員会
委員長 渡 辺 正 和

岩手県人事委員会規則第 号

岩手県人事委員会が保有する歴史公文書の保存、利用、廃棄等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、公文書の管理に関する条例（令和4年岩手県条例第20号。以下「条例」という。）第30条第1項の規定により、岩手県人事委員会（以下「委員会」という。）が保有する歴史公文書の保存、利用、廃棄等に関し必要な事項を定めるものとする。

(歴史公文書の保存、利用、廃棄等)

第2条 委員会における歴史公文書の保存、利用、廃棄等については、この規則に定めるもののほか、知事が保有する歴史公文書の保存、利用、廃棄等に関する規則（令和4年岩手県規則第 号）の規定の例による。

(目録の作成及び公表)

第3条 総括文書管理者は、別に定める様式により、条例第13条第4項の目録（以下「目録」という。）を作成するものとする。
2 条例第13条第4項の規定による公表は、目録を岩手県人事委員会事務局（以下「事務局」という。）に備えて一般の閲覧に供する方法及びインターネットの利用その他の方法により行うものとする。

(電磁的記録の利用の方法)

第4条 条例第23条第1項の実施機関が定める方法は、次の表の左欄に掲げる電磁的記録の種別に応じ、それぞれ同表の右欄に定める方法とする。

電磁的記録の種別	利用の方法
1 磁気テープ、磁気ディスク、光ディスクその他これらに類するもの（以下「磁気テープ等」という。）に記録されている電磁的記録で、事務局内に設置されている電子計算機その他の機器を用いて閲覧し、若しくは視聴し、又は複製することができるもの	閲覧若しくは視聴又は複製物の交付
2 磁気テープ等に記録されている電磁的記録で、委員会が保有する電子計算機その他の機器を用いて、紙その他これに類するものに印字し、又は印画する方法により出力することができるもの	紙その他これに類するものに印字し、又は印画したものの閲覧又は写しの交付

(費用負担の額)

第5条 条例第24条第1項の実施機関が定める額は、別表第1に定めるとおりとする。
2 条例第24条第2項の実施機関が定める方法ごとに実施機関が定める額は、別表第2に定めるとおりとする。

附 則

この規則は、令和4年10月1日から施行する。

別表第1（第5条関係）

区 分		単 位	金 額
1 乾式の複写機による写し（日本産業規格A列3番の大きさまでのものに限る。）	白黒	1枚につき	10円 (両面に複写した場合にあっては、20円)
	カラー	1枚につき	40円 (両面に複写した場合にあっては、80円)
2 1に掲げる以外の写し		1枚につき	当該写しの作成に要する費用に相当する額

別表第2（第5条関係）

方 法	区 分		金 額
複製物の交付	1 光ディスク（日本産業規格 X 0606 及び X 6281 に適合する直径120ミリメートルの光ディスクの再生装置で再生することが可能なものであって、700メガバイトのものに限る。）に複製した複製物		1 枚につき80円
	2 1に掲げる以外の複製物		当該複製物の作成に要する費用に相当する額
紙その他これに類するものに印字し、又は印刷したもの等の写しの交付	1 乾式の複写機による写し（日本産業規格 A 列 3 番の大きさまでのものに限る。）	白黒	1 枚につき10円（両面に複写した場合にあっては、20円）
		カラー	1 枚につき40円（両面に複写した場合にあっては、80円）
	2 1に掲げる以外の写し		当該写しの作成に要する費用に相当する額